

2018 年度秋季入学学生募集要項（博士前期課程）

試験区分コード	1184
---------	------

1 募集人員

専攻	教育研究領域	募集人員
		秋季(10月)入学
コンピュータ・情報システム学専攻	CS: コンピュータサイエンス SY: コンピュータシステム CN: コンピュータ・ネットワークシステム IT: 応用情報工学 SE: ソフトウェアエンジニアリング	30 名
情報技術・プロジェクトマネジメント専攻	PM: プロジェクトマネジメント&IT スペシャリスト	10 名

2 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者

- (1) 大学を卒業した者及び 2018 年 9 月 30 日までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第 104 条第 4 項の規定により学士の学位を授与された者及び 2018 年 9 月 30 日までに学士の学位を授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者及び 2018 年 9 月 30 日までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者及び 2018 年 9 月 30 日までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び 2018 年 9 月 30 日までに修了見込みの者
- (6) 専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び 2018 年 9 月 30 日までに修了見込みの者
- (7) 学校教育法施行規則第 155 条第 1 項第 6 号の規定により文部科学大臣の指定した者
- (8) 学校教育法第 102 条第 2 項の規定により大学院に入学した者であって、本学大学院において、本学大学院の教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者
- (9) 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、2018 年 9 月 30 日において 22 歳に達する者
- (10) 2018 年 9 月 30 日において次のア～エのいずれかを満たす者であって、本学大学院の定める単位を優秀な成績で修得したと認めた者

ア 大学に 3 年以上在学した者

イ 外国において学校教育における 15 年以上の課程を修了した者

ウ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 15 年の課程を修了した者

エ 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 15 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者

注1) 企業等に在職のまま、出願・入学することができる。

注2) 全ての出願者は、出願の前に、入学後の研究計画等について、指導を受けようとする教員に了承を得ること。

注3) (8)、(9)、(10)により出願を希望する場合には、「本学大学院が認めた者」に該当するかどうか事前に審査する必要があるので、「9 出願資格の事前審査を要する場合」をよく読んで提出期限までに事前審査書類を提出すること。

注4) 会津大学オナーズプログラムの学部・修士一貫型タイプA認定者については、出願資格(1)に該当する。

会津大学オナーズプログラムの学部・修士一貫型タイプA (以下「タイプA」という。) について

■ 学部入学から大学院博士前期課程修了までを最短5年で終えることができます。

■ 学部4年で卒業後、大学院博士前期課程を1年で修了することができます。

タイプA：学部4年+博士前期課程1年

(学部4年時に大学院授業科目を受講して本学大学院博士前期課程に進学すること。)

※オナーズプログラムの詳細は会津大学学生課に問い合わせること。

3 出願手続

(1) 出願方法

出願方法は、郵送または直接持参とする。

郵送の場合は、出願書類を定型外封筒（角形2号 240 mm×332 mm）に入れ、封筒左端に『大学院入学願書在中』と朱記し、封筒下部に出願者の氏名及び住所（本学在学学生はさらに学籍番号）を記入した上で、下記の出願書類送付先まで『簡易書留速達郵便』又はEMS（海外からの場合）で送付すること。

直接持参の場合でも、出願書類を封筒に入れ、封筒下部に上記事項を記載して提出すること。

(2) 出願書類送付先（問い合わせ先）

〒965-8580 会津大学 学生課学生募集係

TEL：(0242) 37-2723 / FAX：(0242) 37-2526

E-mail：admission@u-aizu.ac.jp

(3) 出願締切日

出願期間は、2018年6月1日(金)から6月8日(金)午後5時まで。

なお、同じ日程で実施される2019年度春季入学第1回試験(1191)に同時に出願することはできない。

(4) 出願書類

日本語または英語で明瞭に記入すること。ただし、5は英語で記入すること。

	出願書類	提出者	摘要
1	入学願書	全員	本学所定の用紙(M1)に所要事項を記入すること。

2	住所票	全員	本学所定の用紙(M2)に所要事項を記入すること。
	写真票	全員	本学所定の用紙(M2)に、所要事項を記入の上、裏面に氏名を書いた写真(正面上半身無帽、背景なし、縦4cm×横3cm、出願前3か月以内に単身で撮影したもの。)をそれぞれ所定の箇所に貼って提出すること。
	受験票	全員	
3	卒業(見込)証明書又は在学証明書	全員	出身大学の長等が作成し、厳封したもの(英文で作成。 本学在學生は不要)。
4	成績証明書	全員	出身大学の長等が作成し、厳封したもの(英文で作成。 本学在學生は不要)。
5	研究計画書	全員	本学所定の用紙(M3)を使用し、入学後に希望する研究内容等について英語で記載のこと。
6	推薦書	全員	本学所定の用紙(M4)を使用し、出願者の履修能力、業績等を客観的に証明することのできる者(出身大学の指導教員等)が作成し、封印をしたもの。
7	入学検定料	全員	30,000円 日本円で以下の口座に入金し、送金を証明する書類を、入学願書(M1)裏面の指定箇所に添付すること。 送金手数料は出願者負担となるので、本学における入金額が30,000円になるように送金手数料を入学検定料に上乗せして送金すること。 銀行名：東邦銀行 会津支店 口座番号：(普) 2268703 口座名義：コウリツダイガクホウジン アイヅダイガク 公立大学法人 会津大学
8	受験票返信用封筒	全員	定型封筒(長形3号 120mm×235mm)を出願者が用意し、受験票返信先の住所、氏名、郵便番号を明記し、252円切手(特定記録郵便)を貼付すること(本学在學生は切手不要)。
9	教育課程表	出願資格(8)(10)の該当者	在籍する学科等の開講科目の講義内容が詳細に記載されたもの(本学在學生は不要)。
10	出願承認書	該当者	1. 官公庁、企業等に在籍のまま出願・入学を希望する者は、当該所属長が作成した出願承認書を提出すること。様式任意。 2. 出願時に他大学院に在学中の者は、当該大学院の受験許可書を提出すること。様式任意。
11	経費支弁書	外国人留学生のみ	経費支弁者が本学所定の用紙(M6)に記入する。あわせて当該経費支弁者の資産(収入)を証明できる書類を提出すること。様式任意。例として、以下のものがあげられる。なお、金額に関しては定めていない。 ・金融機関が発行した経費支弁者の氏名、残高、日付が記載された預金残高証明書。(英文)または、雇用先が発行した経費支弁者の雇用証明および年収証明。(英文) 注：出願時に奨学金を申請中の場合も上記の書類の提出が必要である。出願時に奨学金の支給が決定している場合は、その旨を記載した文書を提出すること。

12	TOEFL、 TOEIC 等の 成績証明書	全員	TOEFL、TOEIC、IELTS、GEPT、CET 等の成績証明書。 なお、英語を母語とする者及び英語による大学学部の教育を受けた者は提出不要だが、後者の場合、受験者は、学部教育での使用言語について学位を授与した大学が証明する文書を提出すること。
13	そ の 他	該当者	1. 企業等において研究などに従事した履歴がある場合は、職務及び主な研究業績について所定の用紙(M5)に記入すること。詳細は、所定用紙の注を参照すること。 2. GRE を受験している場合は、そのスコア又は取得級の公式証明書(写し可)。

4 注意事項

- (1) 不備のある出願書類、出願締切日時を過ぎて到着した出願書類は受け取らない。
- (2) 出願書類受理後は、いかなる理由があっても当該書類及び入学検定料は返還しない。
- (3) 出願後の出願書類の記載の変更は認めない。
- (4) 出願書類に虚偽の記載があった場合には、入学許可後であっても入学を取り消すことがある。
- (5) **出願資格の(1)から(6)において、その「見込み」で出願したものが、その要件を充足しないこととなった場合は入学許可を取り消す(入学時に卒業証明書等関係書類を提出)。**
- (6) 上記(4)、(5)に該当する場合にも、関係書類及び入学料等の納付金は返還しない。

5 試験

(1) 選抜方法

入学者の選抜は、面接試験及び成績証明書等を総合して行う。

面接試験は、コンピュータ理工学に関する専門知識、英語能力等を試す。専攻する分野と研究計画に関連する専門知識(得意分野)について英語による5分程度の発表を行い、それに基づく質疑応答を10分程度行う。発表用の各種機器(OHP、PC等)は使用しない。

注1) コンピュータ理工学以外の分野からの出願者(他分野出身者)は、今まで学んできたこと(得意分野)と研究計画に関連する発表を行う。

注2) 出願資格の(9)に該当する者は、基礎学力面接試験を実施する場合がある。

注3) **出願資格の(10)及び(11)に該当する者及び他分野出身者の面接は30分程度行う。**

(2) 試験実施日時・場所等

2018年7月14日(土)に本学研究棟で行う。出願者には、受験票送付の際に個別の集合時間を通ずる。

6 合格発表

(1) 合格者発表方法

本学研究棟前掲示板に合格者の受験番号を掲示するとともに、合格者本人あてに文書で通知する。電話、電子メールその他による可否の問い合わせには一切応じない。

なお参考として、本学ホームページに合格者の受験番号を掲載する。

URL: <http://www.u-aizu.ac.jp/admissions/graduate/result>

(2) 合格者発表日時

2018年7月20日(金) 午前11時頃

7 入学手続

(1) 入学手続方法

- ア 入学手続に必要な書類等については、合格発表後に郵送する。本学在学学生は学生課学生募集係で配付する。
- イ 提出書類は原則として直接持参（代理人も可）すること。
やむを得ず直接来学できない場合は、入学手続期日まで必着の簡易書留で郵送すること。この場合、2018年8月22日（水）午後5時までに学生課学生募集係へ連絡すること。郵送先及び連絡先は、「3出願手続」の(2)出願書類送付先（問合せ先）を参照のこと。
- ウ 必要な書類がすべてそろっていない場合には受付できないので、書類提出の際には十分確認すること。
- エ 一度受付をした入学手続書類は、いかなる理由があっても返還しない。
- オ 一度納付された入学料は、原則として返還しない。
- カ 所定の期日までに入学手続を完了しない者は、入学を辞退したものと取り扱う。

(2) 入学手続期日

2018年8月24日（金）

(3) 入学手続先

会津大学学生部学生課

(4) 初年度納付金

区 分	金 額	納付時期
入 学 料	282,000 円	入学手続時
授 業 料	520,800 円	10 月末日及び 4 月末日を納期限として分納（各 260,400 円）する。
学生教育研究災害障害保険料	（2 年分） 1,750 円	入学手続時
インバウンド付帯学総 （外国人留学生のみ）	（2 年分） 3,260 円	入学手続時

8 その他

(1) 奨学金制度

独立行政法人日本学生支援機構の大学院奨学金等があり、詳細については入学後、説明会を行う。

(2) TA制度

大学院生が学部授業（演習等）の補助業務を行う TA（ティーチングアシスタント）制度がある。TA に委嘱された場合は、従事した時間に応じて、時給 1,000 円程度の報償費が支給される。

(3) 下宿・アパート

学生は自分で下宿・アパートを探す必要がある。なお、下宿・アパートについての情報は、学生課学生支援係で提供する。

TEL : 0242-37-2515

E-mail : cl-health-welfare@u-aizu.ac.jp

9 出願資格の事前審査を要する場合

出願資格の(8)、(9)、(10)による出願を希望する者については、出願に先立ち事前審査を行う。なお、実際の出願の際には、入学願書原本とともに、事前審査提出書類以外の出願書類を提出すること。

事前審査書類を提出する場合は、任意の封筒を使用し、表に『事前審査書類』と朱書きし、「3出願手続」の(2)出願書類送付先へ直接持参するか、『簡易書留速達郵便』又はEMS(海外からの場合)で郵送すること。

試験区分コード	試験区分	事前審査書類の提出期限	審査結果の通知
1184	2018年度秋季入学第2回試験	2018年5月7日(月) (午後5時必着)	2018年5月31日(木)まで

提出書類等	摘 要	必要書類	
		出願資格 (8)(10)	出願資格 (9)
入学願書の写し	「3出願手続の(4)出願書類を参照のこと。」	○	○
成績証明書		○	○
研究計画書		○	○
推薦書		○	○
在学証明書		○	
教育課程表		○	
卒業(見込)証明書			
業績調書	企業等において研究などに従事した履歴がある場合には、本学所定の用紙(M5)に所要事項を記入すること。		○

■コンピュータ情報・システム学専攻

本専攻は、コンピュータ理工学部に基づき、コンピュータシステムを用いて現実の問題を解決することで、その処理対象である“情報”の構造と機能について研究することを目的としています。

本専攻のカリキュラムは、問題解決型研究を基本方針としており、修士論文の作成は、専攻に応じた必修科目である研究科目として行われます。修了に必要な総単位数の2割がこの研究科目に割り当てられています。本専攻のカリキュラムは、個人を主体として2年間かけて研究が進められるようデザインされています。

本専攻では次の5つのフィールドを設定しています。

○CS Field CS教育研究領域 (Computer Science コンピュータサイエンス)

○SY Field SY教育研究領域 (Computer System コンピュータシステム)

○CN Field CN教育研究領域 (Computer Network Systems コンピュータ・ネットワークシステム)

○IT Field IT教育研究領域 (Applied Information Technologies 応用情報工学)

○SE Field SE教育研究領域 (Software Engineering ソフトウェアエンジニアリング)

学部カリキュラムのフィールドに合わせて設計されているため、学部から一貫してコースプランを立てることが可能となり、より体系的に専門性を身につけていくことができます。

○CS Field CS 教育研究領域

キーワード：アルゴリズム、コンピューテーショナルモデリング、理論的コンピュータサイエンス
新たな理論の発展と実用システムへの展開を視野に入れて、先端的コンピュータシステム、知的システムを活用するための基礎技術、および多様に見える現象の本質を抽出して得られたコンピュータ理工学の核となる基礎理論を中心とした教育研究を行います。

○SY Field SY 教育研究領域

キーワード：組み込みシステム、VLSI テクノロジー、コンピュータデバイス、コンピュータ構成、
並列処理

組み込みシステム、VLSI テクノロジー、コンピュータデバイスなど広範なコンピュータ技術を対象とした研究教育を行います。

組み込みシステムの研究については、アプリケーションソフト、OS、アーキテクチャ、電子工学についての広く深い知識の習得を目標としています。また、VLSI テクノロジー分野では、デジタル設計に加えて、物理設計やアナログ電子回路についての研究を行います。コンピュータデバイス技術の研究には、マイクロ・ナノデバイスの理論と応用も含まれます。

並列処理は、現在も将来も、コンピュータにとって重要な原動力であり、ハードウェアアーキテクチャからアプリケーションソフトウェアまで広範囲におよぶ最先端かつ革新的なコンピュータ技術の研究を主眼としています。

○CN Field CN 教育研究領域

キーワード：コンピュータ・ネットワークシステム

現代の情報通信サービスには、コンピュータネットワーク技術が不可欠です。本領域ではコンピュータネットワークシステムを構築する上で基盤となるデジタル通信、マルチメディア・ユビキタスネットワーク、インターネット関連技術、および分散アルゴリズム等、コンピュータネットワークシステム開発に関する幅広い分野の教育研究を行います。

○IT Field IT 教育研究領域

キーワード：バーチャルリアリティ、マルチメディア検索、インターネットコンピューティング、
ヒューマンインターフェース、ロボット工学、バイオメディカル情報技術

バーチャルリアリティ・マルチメディア・バイオメディカル情報技術は、コンピュータ理工学分野において、重要であり絶えず進歩し続けている領域です。具体的には、コンピュータグラフィックス・アニメーション、インターネット・マルチメディアコンピューティングのためのモバイルシステム、バイオメディカルマルチメディアシステム、知的マルチメディアシステム、複合・拡張リアリティ、コンピュータミュージック、ネットワークメディアアプリケーション、コンピュータゲームなどが研究対象となります。

またウェブテクノロジーやヒューマンインターフェース、ロボット工学などの急速な進歩に対応して、マルチメディアオブジェクトを検索するためのウェブテクノロジー、ヒューマン・マシーン・インターフェーステクノロジー、ユビキタス環境におけるロボットテクノロジー、極限環境探査とリモートセンシングの研究・実験を通じた知識並びに技術の修得を目標としています。

○SE Field SE 教育研究領域

キーワード：ソフトウェアエンジニアリング、並列・分散・インターネットコンピューティング、プログラミング

ソフトウェア工学は、コンピュータサイエンスと工学原理を適用し、ソフトウェアの開発・運用・保守を、体系的に規律を保ちながら実践するための学問です。最新のソフトウェア開発技術やツールの実践的活用法を身につけるとともに、様々なアプリケーション開発に参加し、要件を正確に定義・評価する方法から、問題を解決するための必要なリソース管理や開発工程の管理まで、得られた知識を応用することができるようになります。

■情報技術・プロジェクトマネジメント専攻

本専攻は、IT 産業に関わる実用的な問題を実際に解決することを通じた教育を行います。様々な実用的なソフトウェアの開発機会と、それをチームで取り組む環境を整えることで、他者との協働、個人としての取り組みの両方で自主性を発揮できるようなリーダーシップを醸成すると同時に、国際的教育を受けた最先端の情報技術専門家の育成を目指しています。

本専攻での教育研究は「ソフトウェア開発アリーナ」と呼ぶスーパーコースを核としており、修了に必要な総単位数の4割がソフトウェア開発アリーナに割り当てられています。このスーパーコースでは、学生がチームを組んで実用的なソフトウェアシステムを構築すること、4篇のテクニカルレポートを作成すること、そして論文1篇が国際会議論文集へ掲載されることが求められます。チーム協働による集中的研究がこのプログラムの特徴です。

○PM Field PM 教育研究領域 (Project Management and IT Specialist プロジェクトマネジメントと IT スペシャリスト)

キーワード：プロジェクトマネジメント、知的財産管理、ビジネスとコンピュータ産業、クラウドコンピューティング

国際的教育を受けた最先端の情報技術専門家の育成は、現代社会に課せられた重要な任務です。本教育研究領域では、信頼性の高い安全なソフトウェアを開発するための基礎知識や応用技術の習得を目指します。

また、本フィールドでは、システム開発において基礎知識から応用技術まで幅広い知識を身につけた IT リーダーを育成することを目指しているため、プロジェクトの内容に応じて必要となる知識を他フィールドから履修することが求められます。

具体的な目標は以下の通りです。

- ・システム開発において主導的役割を担う技術者の育成
- ・国際的環境での英語を日常語とした研究開発の体験
- ・最新の知識と技術の習得
- ・国際的に活躍するために必要な資質の向上